

【DX人材育成】

教育普及委員会活動紹介とMMIT募集案内

2025年4月10日

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
事務局長 市本秀則

教育普及委員会の活動紹介

2025年4月10日(木)

教育普及委員会

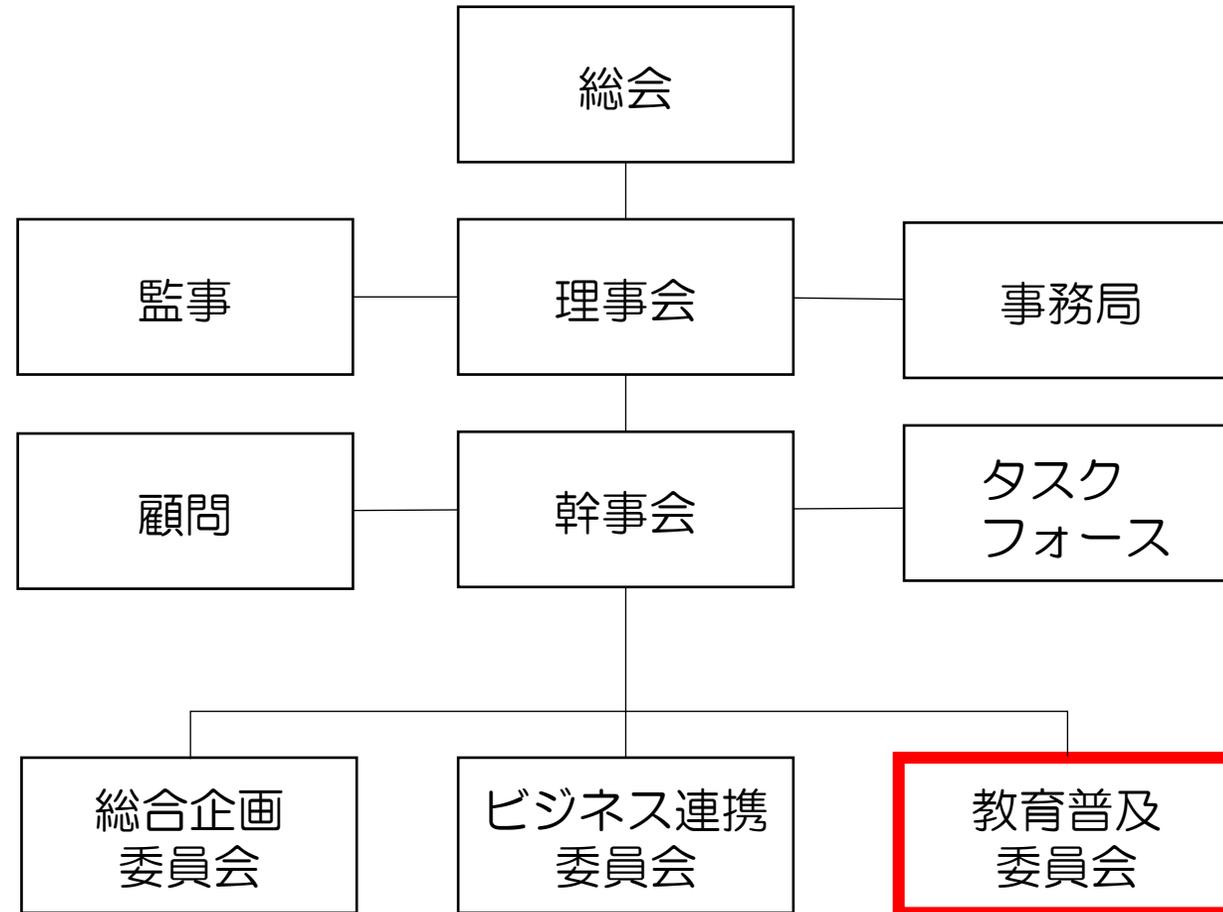
I. 教育普及委員会の位置づけ

II. 主な活動

1. IVI地域セミナー
2. ミニ・シンポジウム（別紙）

I. 教育普及委員会の位置づけ

IVI組織図



委員長： 高梨千賀子 東洋大学
副委員長： 澤田浩之 (国研) 産業技術総合研究所
池谷隆典 (株) 叢雲堂



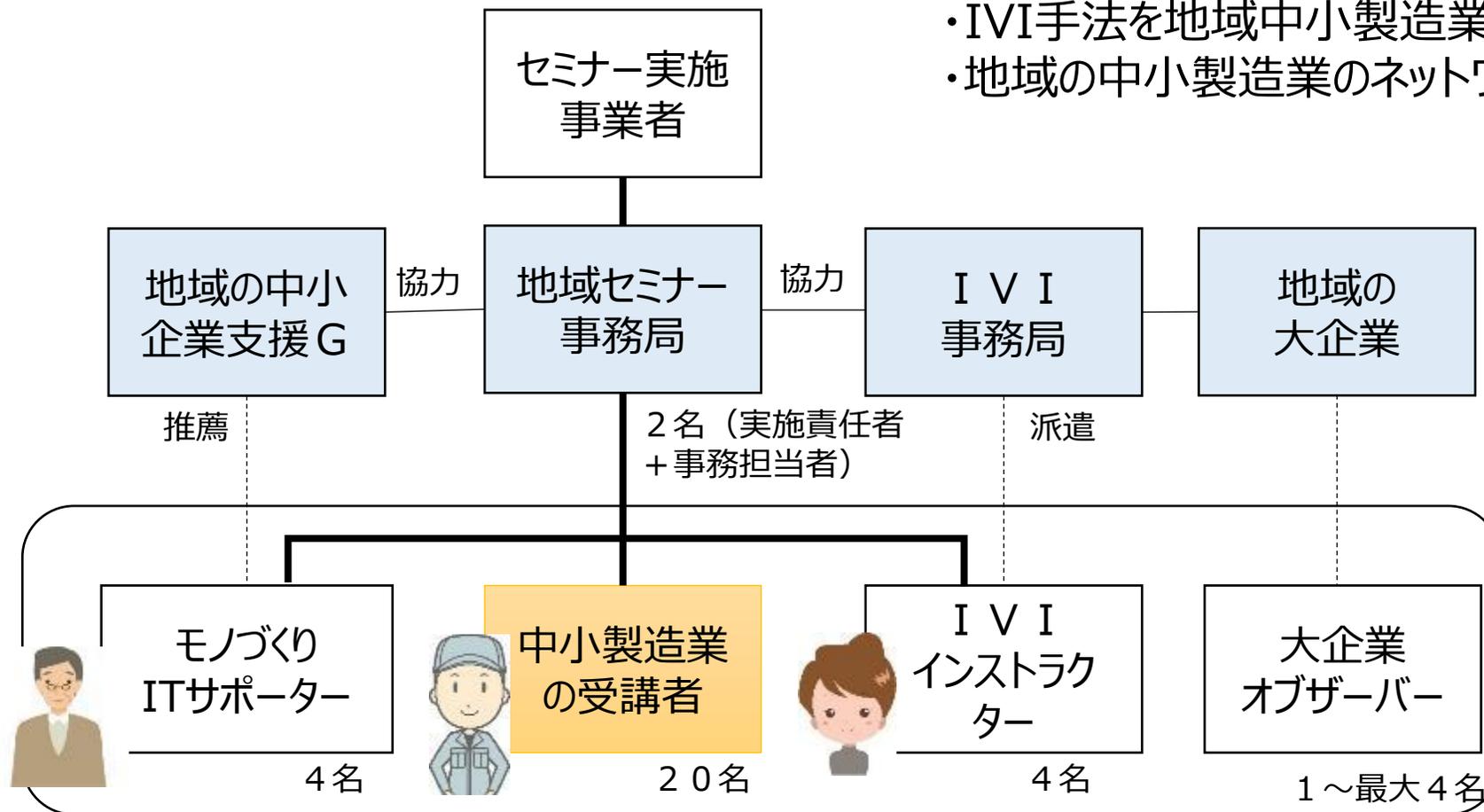
Ⅱ. 主な活動

1. IVI地域セミナー

1. IVI地域セミナー ①実施体制

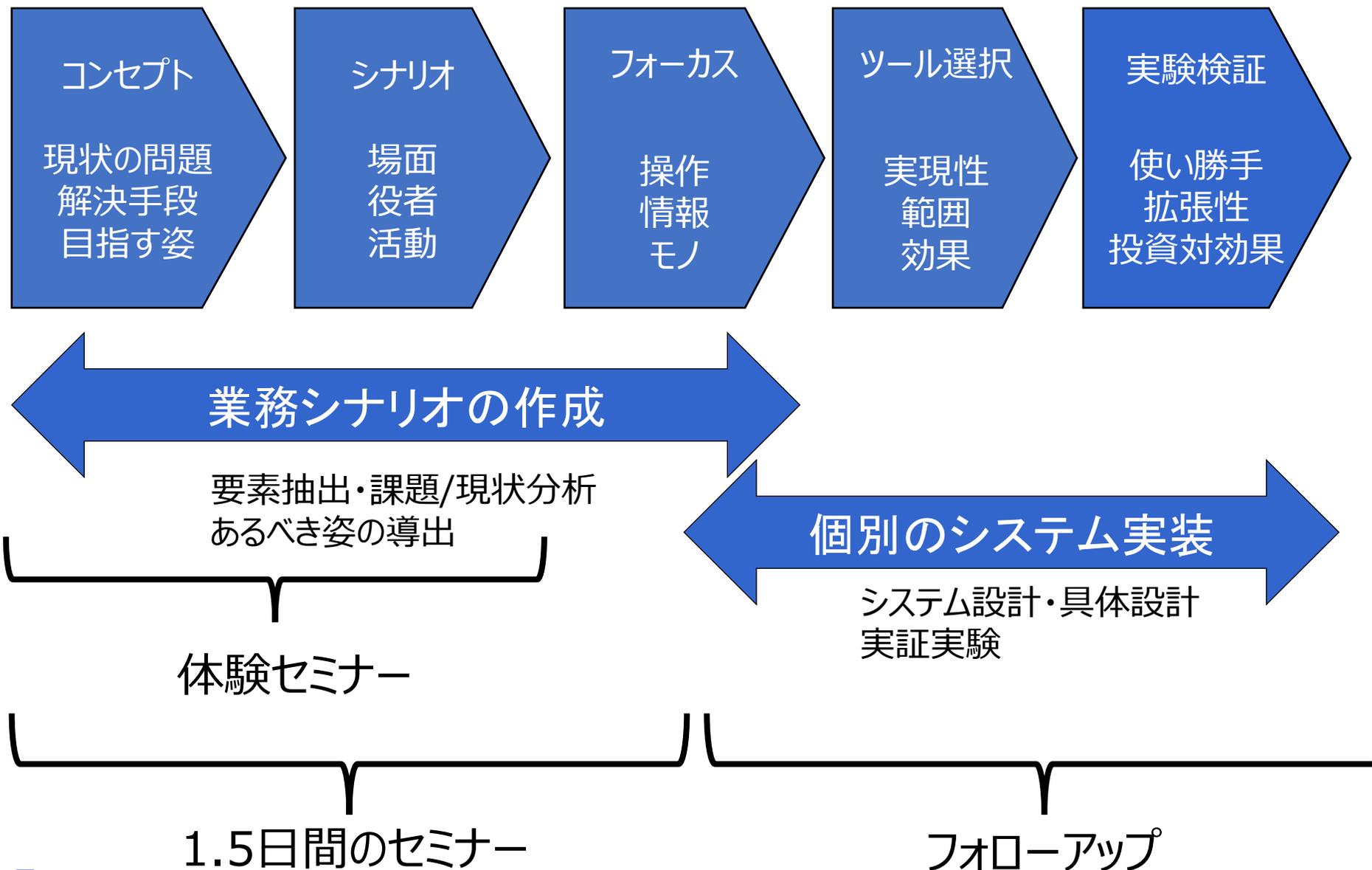
【目的】

- ・IVI手法を地域中小製造業に展開
- ・地域の中製造業のネットワークをつくる



セミナーの構成員 (各グループ7~8名×4グループ)

1. IVI地域セミナー ②セミナーの流れ



1. IVI地域セミナー ③コンテンツの紹介

	サービス	日数	形態	内容	特徴	
1	体験セミナー	1日間	リアル 講師のみ オンライン	困り事、課題整理、As-Is作成、ToBe作成	疑似的な課題に基づき、IVI手法の一連の流れを体験できる	
2	地域セミナー	1.5日間	リアル 講師のみ オンライン 全員オンライン	1日目 困り事・課題整理 As-Is作成 2日目 As-Is作成、ToBe作成	困り事を共感・共有した上で、参加企業のリアルな課題解決方法を模索できる	
3	価値創造セミナー	全5回 (3H/回)	リアル	第1回 As-Is作成 第2回 As-Isブラッシュアップ 困り事・課題整理 第3回 ToBe作成 第4回 価値創造 第5回 To-Do 費用対効果検討	通常地域セミナーに加え、ToBeに少し加えることにより、更なる価値を創造し、費用対効果のアップを目指す	
4	オンライン・セミナー	鋭意、建築中！！				



Ⅱ. 主な活動

2. ミニ・シンポジウム
(別紙チラシも参照)

日本のものづくりを支える中堅・中小企業の皆様におくる



IVI教育普及委員会主催

DXなんて怖くない！！第2弾 ミニシンポジウム2025

企画案

昨年続く2回目のシンポジウム 3つの「押し」！

- ①明日からでも実践できるDXネタをゲット！注目急上昇「AI」技術を武器にするためのヒント満載のご講演
- ②道のりや秘話が聞けます！実際にIVI手法を活用して経営改善に取り組んでいるアワード受賞企業のご講演
- ③次の展開は、地域間の横展開！静岡の事例を基にしたパネルディスカッション

【開催日時】 **2025年5月15日（木） 13:30～16:00**

【開催方法】 **オンライン配信**
※全国どこからでもご視聴いただけます！

【参加費】 **無料** 申込：<https://events.iv-i.org/events/view/34>

【主催】 一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
教育普及委員会

申込用QR



【プログラム】

一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
教育普及委員会

企画案

総合司会：澤田浩之（IVI教育普及副委員長、産業技術総合研究所）			
13:30	10	冒頭あいさつ	西岡 靖之（IVI理事長、法政大学教授）
13:40	10	教育普及委員会・地域セミナー紹介	高梨千賀子（IVI教育普及委員長、東洋大学）
13:50	15	2024年度IVI地域アワード最優秀賞受賞企業 講演 「営業管理の第一歩」	（株）八生建設 首藤 潤美 様
14:05	45	第1回アワード受賞企業 講演 「（仮）IVI地域アワード 受賞から現在まで」	（株）リッチェル 水野 皓一郎 様
14:50	10	休憩	
15:00	30	地域を繋ぐことで価値創出の可能性を探る 「テーマ未定」	静岡県振興財団 長井様 IVI渡邊 嘉彦/高梨 千賀子
15:30	30	AI関連のご講演 「テーマ未定」	connectome.design(株) 大谷 聡 様
16:00		終了(クロージング)	担当未定

■連絡先

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ 事務局
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-28-302
TEL: 03-6272-6021 電子メール: office@iv-i.org

2025年度



MMITものづくりDX 指導者育成講座

受講案内

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
法政大学大学院つながるものづくり研究所

目的

製造業のDXで中核となる工場のデジタル化、データ化を推進するリーダを育成する。ものづくりに関するさまざまなデータを、現場が主体となって整理し、基幹システムとも連携する形で、データを価値に変える手法を学ぶ。

対象

大企業における工場のデジタル化推進者、中堅・中小企業の業務情報の管理者、日々の業務でExcel等でデータを管理し、運用を行っている人。プログラミング等のIT専門知識は不要。

ゴール

IoTキットやノーコードツールを利用して、製造業で一般的な業務アプリ(設備管理、在庫管理、原価管理、BOM/BOP管理など)を構築することで、自社の独自の課題への展開を可能とする。設備のCO2排出量の測定など、GXへの展開も可能。



- ✓日時 9月3日(水)～1月21日(水)全10回 時間:13時から17時
- ✓場所 法政大学新見附校舎9階スタジオ
<https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/access/>
注)第6回の開催は東京近郊の工場(現地)となります
- ✓形式 講義＋演習(実習) 注)原則として対面、一部オンライン受講も可能
- ✓人数 10名(最大20名)
- ✓講師 西岡靖之(法政大学教授、IVI理事長)
- ✓費用 28万円(IVI会員企業は18万円)税別、IoTキット代含む
注)二名以上の参加で、IoTキットが不要の場合は、20万円(会員10万円)／人
- ✓申込方法 IVI事務局まで申込書を送付ください。

- 現場の業務に寄り添ったボトムアップな情報システムの構築を行うための技術とノウハウを習得する。
- スマートシンキングにより、問題発見からシステム構築および運用までの一連のプロセスを対象とする。
- 安価な仕掛けで現場からデータを取得し、業務を補完するシステムをノーコードで開発する手法を学ぶ。
- BOM(部品表)やBOP(工程表)などの構造データを学び、品質、原価、納期、環境の視点で再構成する。
- カイゼン型アプローチを踏襲しつつ、トップダウンな取組みとも整合性のとれたDXの実践方法を学ぶ。



実施スケジュール



回数	日付	内容	講師
第1回	2025/9/3 (水)	オリエンテーション、システム環境設定、IoTキットの動作確認、ノーコードツールの操作、スマートシンキング概説など	西岡靖之、他
第2回	2025/9/17 (水)	製造実行システム (MES) のデータモデル解説、現場カイゼンの実践をサイバーフィジカルシステム (CPS) 化するポイントなど	西岡靖之、他
第3回	2025/10/1 (水)	設備管理を例として、IoTキットを活用したシステム実装の手順を解説。設備の起動と停止、稼働率の把握、計画保全への応用など	西岡靖之、他
第4回	2025/10/15 (水)	進捗管理を例として、IoTキットを活用したシステム実装の手順を解説。工程の着手、完了、予定と実績の対比、納期管理など	西岡靖之、他
第5回	2025/11/5 (水)	カーボンフットプリント (CFP) 算出を例としたBOM、BOPの構成、エネルギー管理、定期的な集計や見える化の方法など	西岡靖之、他
第6回	2025/11/19 (水)	工場見学、事前に設定したテーマに沿った課題調査、グループによる問題発見、課題の整理、見学先担当者とのディスカッションなど	西岡靖之、他
第7回	2025/12/3 (水)	グループ課題の設定、システムの要件 (AS-IS、TO-BE) 設定、スマラーを用いたチャートの作成、利用データと成果データの設計。	西岡靖之、他
第8回	2025/12/17 (水)	システムの実装、IoTキットおよびノーコード開発ツールを用いてシステムを実装、最低限の動くしくみを作成しフィードバック	西岡靖之、他
第9回	2026/1/7 (水)	実際の運用を想定したデータによる動作検証、効果測定、運用移行計画、導入時に想定される課題および対策の立案など	西岡靖之、他
最終回	2026/1/21 (水)	成果発表会および修了試験 発表および修了試験に合格するとMMITマイスター補の資格が授与されます。	西岡靖之、他



- ✓IoTキット(IVI-10万円キット)を提供、電流センサ、加速度センサ、ON-OFFセンサ、温度・湿度・照度センサ、ICカードが利用可能。
- ✓ローコードを含めて、プログラミングは行わない。また、ラスパイにおける電子工作は行わない。システム構築は、パラメータ設定+マクロ等の手順設定のみとする。
- ✓困りごとからAS-ISモデル、TO-BEモデルの定義は、スマラーを用いて共有可能とする。また、システム開発はコンテキサーを用いる。データモデルはPSLX(注)を用いる。
- ✓人財教育の視点とあわせて、自社の課題に対するPOC(実証実験)の要素も考慮する。確実に実現可能な範囲とし、完成したシステムを持ち帰って運用することも可能。

注)PSLXは、日本発の製造オペレーション管理の国際標準です。

スマラーによるシステム要件の整理

チャート	タイトル	説明	並び順	チャート種類
68	目標計画チャート		0	目標計画チャ
69	データ構成チャート		0	データ構成チャ
70	見える化チャート		0	見える化チャ
71	見える化チャート		0	見える化チャ
72	見える化チャート		0	見える化チャ
73	ロジックチャート		0	ロジックチャ
74	やりとりチャート		0	やりとりチャ
75	やりとりチャート		0	やりとりチャ
76	状態遷移チャート		0	状態遷移チャ
77	なぜなぜチャート		0	なぜなぜチャ
78	いつどこチャート		0	いつどこチャ
79	いつどこチャート		0	いつどこチャ
80	いつどこチャート		0	いつどこチャ
81	待ち合せチャート		0	待ち合せチャ

問題発見 問題共有 課題設定 課題解決 その他..

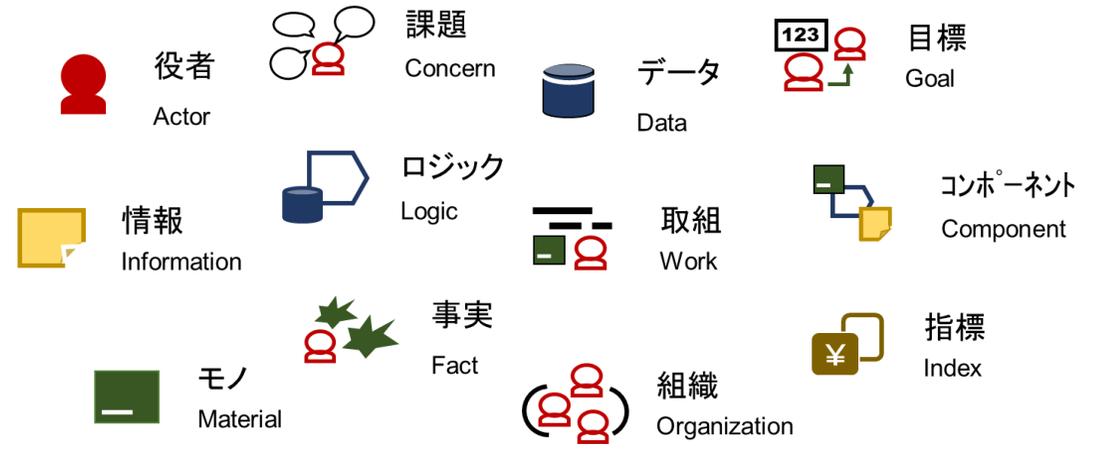
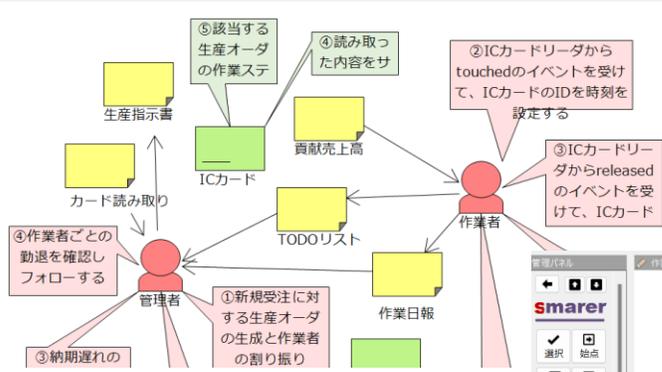
◆新規にチャートを生成する場合は以下のアイコンボタンを選択してください。

困りごとチャート
もやもやした現実の中から、何が問題なのかを明らかにする

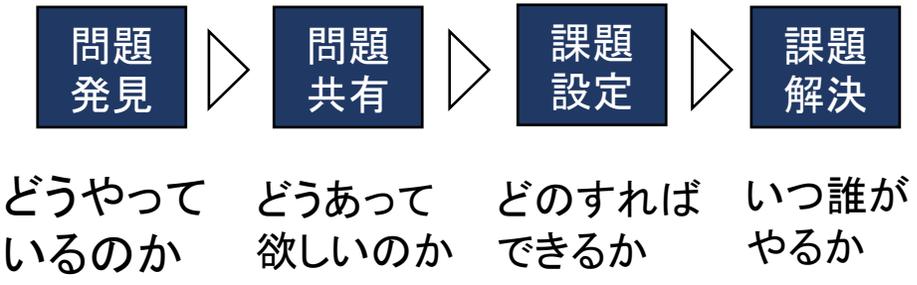
なぜなぜチャート
からみ合った問題に対して、解決するための糸口を見つける

目標計画チャート
最終的な目標に至る過程を示し、状況に応じて段階的に取り組む

いつどこチャート
解決のための業務を示し、実現させるための手段を掘り下げる



スマートシンキング



本日行った作業の合計時間を計算する

本日生産した作業の販売金額の合計値を計算する

一日の作業で特記すべきことがあれば記入する。この内容は、監督者に送信される。

作業日報を確認し監督者へ通知

過去に受けた注文時の仕様がすぐわからない

3行作業場の合計を計算する

作業日報

作業指示を本日の作業日報に追加

トとして設定し合計時間を計算する

TODOリストに追加

た図面のPDFが表示される

択した行の詳細が表示される

合に候補に表示される

実績値

作業時間

明日作業

候補リストで選択した行の詳細が

状態

スマートシンキングの手法にもとづき、スマラーを用いてシステムの要件定義を行います。

実習および修了式の様子



- 非常に良い講習会でした。DXの考え方を、実践形式で理解できたと感じました。
- 座学のみではなくシステムを扱う実技があったり、工場見学をして生の課題を解決する等、知識としてだけでなく、セミナーで身に着けたことが実際に自社で役立てられるような実践的な講座内容でした。
- 演習・実習の多さ、工場視察から問題点・課題を自ら設定しコンテキサー等を活用して解決していくカリキュラムは、それまでで学んだ知識の応用ができ、より自身のスキルとして定着させるきっかけとなりました。
- デジタル化・DXの重要性や進め方を理解するのに非常に為になると思います。しっかり利用できるよう実務の実例を作っていきたいです。
- 講座を受講する前はDXの知識等ほとんどなく、どこまで成長できるか疑問でしたが、毎回、特に6回目以降とても内容の濃い講座だったので、受講前と比べて当初の想像よりもはるかにレベルアップしたと実感できました。
- DXを自社の技術者で推進するという考え方にとっても賛同しながら毎回楽しく活動させていただきました。会社の横のつながりを得ることが出来その点も大変感謝しております。
- DXについての基礎的な知識に加えて、製造業においてどのようにDXを進めていくのかの考え方と手法について学び、身に着けることができました。





ものづくり現場が主体となった **DX**

MMIT ものづくり DX 指導者育成講座

業務担当者がシステム構築するための基礎を学ぶ

すぐに使える実践的な例題とソリューション

ノーコードで IoT キットの利活用を実際に体験



工場訪問による DX 事例の学習とカイゼン提案の実施

いまさら聞けない生産管理の理論と実践を総括

DX 構築手法スマートシンキングがすべて学べる！

修了者には MMIT マイスター補の資格認定



2025年9月3日(水) ~全10回(隔週)

場所：法政大学新見附校舎9階スタジオ

講師：西岡靖之(法政大学教授、IVI 理事長)

参加費：28万円 (IVI メンバーは18万円) 税別 定員：10名

対象

大企業における工場のデジタル化推進者、中堅・中小企業の業務情報の管理者、日々の業務で Excel 等でデータを管理し、運用を行っている人。プログラミング等の IT 専門知識は不要。



プログラム

内容は予告なく変更になる場合があります。

回数	日付	内容
第1回	9月3日(水)	オリエンテーション、システム環境設定、IoT キットの動作確認、ノーコードツールの操作、スマートシンキング概説など
第2回	9月17日(水)	製造実行システム(MES)のデータモデル解説、現場カイゼンの実践をサイバーフィジカルシステム(CPS)化するポイントなど
第3回	10月1日(水)	設備管理を例として、IoT キットを活用したシステム実装の手順を解説。設備の起動と停止、稼働率の把握、計画保全への応用など
第4回	10月15日(水)	進捗管理を例として、IoT キットを活用したシステム実装の手順を解説。工程の着手、完了、予定と実績の対比、納期管理など
第5回	11月5日(水)	カーボンフットプリント(CFP)算出を例とした BOM、BOP の構成、エネルギー管理、定期的な集計や見える化の方法など
第6回	11月19日(水)	工場見学、事前に設定したテーマに沿った課題調査、グループによる問題発見、課題の整理見学先担当者とのディスカッションなど
第7回	12月3日(水)	グループ課題の設定、システムの要件(AS-IS、TO-BE)設定、スマラーを用いたチャートの作成、利用データと成果データの設計。
第8回	12月17日(水)	システムの実装、IoT キットおよびノーコード開発ツールを用いてシステムを実装、最低限の動くしくみを作成しフィードバック
第9回	1月7日(水)	実際の運用を想定したデータによる動作検証、効果測定、運用移行計画、導入時に想定される課題および対策の立案など
最終回	1月21日(水)	成果発表会および修了試験 発表および修了試験に合格すると MMIT マイスター補の資格が授与されます。

第6回は工場見学会(現地) それ以外は、平日13時から17時(原則として対面を実施する)



スマートシンキング



どうやって いるのか 欲しいのか どのすれば できるか いつ誰が やるか

IVI が開発したスマートシンキングは、現場の困りごとからスタートしてシステムの要件を定義し、実装および運用と効果検証までを組織活動としてデジタルツール上で行うための手法です。ISO/IEC でも取り上げられ、新たなシステム開発手法として注目されはじめています。

講座で利用するツールとアプリ



主催 一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ (IVI)
共催 法政大学大学院つながるものづくり研究所
お申込み・お問合せ先 IVI 事務局 担当 鎌田
E-mail: office@iv-i.org TEL:03-6272-6021 FAX:03-6272-6023

- ✓対象とする現場の専門知識をもち、業務における問題点や課題を見つけ、デジタル技術を活用した解決方法を提案し、そして実際にその成果を示すことができるひと。
- ✓属人化された独自の技術やノウハウを切り分け、現場のデータを価値ある資産として活用し、社外とも連携することであらたな可能性につなげることができるひと。
- ✓情報システムを自ら制作できるマイスターとして、さまざまな情報や手順の標準化を進め、部門を横断した全体最適を指向し、新たな人材の指導と育成ができるひと。

■IT専門家でなくても簡単にシステム開発ができるのですか？

→システム開発はデータの整理・整頓の延長としてExcel感覚で画面設計や操作フローを定義できます。

■中小企業の担当者でも参加できますか？ ついていけますか？

→まったく問題ありません。むしろ中小企業の方がDXを実践できるようなカリキュラムとなっています。

■異なるセンサーを利用したいのですが・・・

→困りごとから出発し、提供されるセンサーのいずれかで実現する代替案を見つけることも重要です。

■マイスターの資格を取るとどのようなメリットがありますか？

→MMITのインストラクターや社内、社外でのIT支援のスペシャリストとしての活躍が期待されます。

■実習で制作した成果をそのまま業務で使えますか？

→IoTキットは持ち帰り、実際の業務で利用可能です。また、業務アプリは1年間無料です。

■遠方からなのでオンライン参加は可能ですか？

→基本的に対面での講義となりますが、仕事の都合で一部をオンラインで受講することは可能です。

■スクール終了後のフォローアップはありますか？

→6か月後にフォローアップ会議を行います。それ以外にも、オンラインで適宜フォローいたします。





日刊工業新聞社

申し込み者全員
にプレゼント



ぜひご参加ください！



お申込み、お問合せ先

IVI事務局 担当鎌田
office@iv-i.org

(C) 2025. Industrial Value Chain Initiative